

経済的に就学継続が困難な 子供へ学資支援

ハティン省教育訓練局とJIFAの合意に基づき、親がいなかったり病気などで経済的に苦しい家庭環境の中でも、勉学が優秀で向学心に燃える子どもたちを支えようと、支援者が提供した学資支援金1万円/人を、高校卒業まで生徒へ提供する活動を行っています。

2018年度からは13各郡から1～2名ずつ推薦された困難な中学4年生にも高校卒業までの奨学金を贈呈し、励ましています。2021年度は生徒102名に学資支援を行いました。



2022年5月11日 第8次学生支援金贈呈（ベトナム・ハティン省）

教育・スポーツ・人材育成支援活動

アジア各国の青少年への支援の一環として、JIFAでは、在日大使館や在日学生青年団体等と協力して、ベトナムや国内で、スポーツ・文化の交流イベントを開催しています。

2016年には、ベトナムハノイとダナンで日越教育・スポーツ・人材育成交流会を開催し、日本での技能実習や留学をめざす青少年やスポーツ指導者との交流を深めました。また、2017年には日本大使館と共催でハティン省で適正な人材交流を進めるフォーラムを開催しました。国内でも、仙台、沖縄、熊本などで人材育成交流の集いを共催しました。



ハノイ 2017年5月11日



梅田大使をお迎えして
ハティン 2017年9月6日

ベトナムハティン省 2022-2023 学資支援者 募集

2014年から継続してJIFAがハティン省教育訓練局と連携して、経済的・家庭的に困難な生徒に高校卒業まで、のべ約500人に対して学資支援を行ってきました。ハティン省は毎年のように水害に見舞われる地域で、水深3mも浸かる地域もあります。被災農家では深刻な被害が発生し、家畜も失われ、就学継続が困難な子どもたちが多いことで知られています。



一人でも多くの皆様に学資支援者となっていただきたく、学資支援者を募集中です。

2020年10月水害の状況⇒

グエン・ティ・タン・タオさんは中学生の時から学資支援を受け、高校に進学。卒業後、日本語の勉強を始め、JIFAの支援を得て新聞留学生として来日。介護福祉士・看護師をめざして勉強しています。彼女は、来日2年目から新聞配達しながら、自ら母校の困難な生徒一人に学資支援しています。



震災復興に向けて熱いメッセージを寄せるベトナムの子どもたち

JIFAの活動は、会費及び寄付金によって支えられています。JIFA会員には、法人会員、個人正会員、個人賛助会員、学生会員があり、不定期にご寄付をいただく寄付会員などの制度もあります。

法人会員： 入会金30,000円、年会費30,000円
個人正会員： 入会金10,000円、年会費10,000円
個人賛助会員： 入会金5,000円、年会費5,000円
学生会員： 入会金500円、年会費1,000円

■口座名 特定非営利活動法人 日本国際親善協会
■ゆうちょ銀行 店番018 普通9825376
■三井住友銀行 新宿通支店 普通7274362

JIFA

世界の子どもたちへ 愛の協心支援

人から人へ 手から手へ 心から心へ



特定非営利活動法人 日本国際親善協会



〒160-0022
東京都新宿区新宿5-7-7
ニューバレービル4階
電話&FAX 03-3352-3918
<http://www.jifa.org>
info@jifa.org

JIFAは現在ASIA地域の子どもたちに『人から人へ、手から手へ、心から心へ』を基本として目に見える支援を行っています。

JIFAが目指すのは、未来を担う子どもたちを支援することにより、今後の世界の発展に貢献する人材を育成することです。

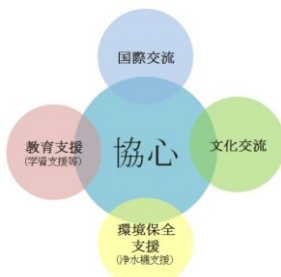
かつては辞書にはなかった言葉『協心』を合言葉として活動を行っています。

『協心』とは・・・

JIFAの活動の根源に流れる言葉です。

『1人の力は限られていますが、2人・3人と協力して心を通わせ力を合わせれば不可能な事も可能になる』という思いが言葉に込められています。

JIFAに国境はありません。



History ～今までの歩み～

- 1998年 7月 日本ペルー親善協会設立
- 2001年 2月 日本国際親善協会に改称
- 2002年 6月 NPO法人の認証を受ける
- 2005年 9月 中国寧夏回族自治区と山東省で教育支援
支援開始以来 7回教育支援訪中
- 2010年 9月 ベトナム ハーティン省で、ティンロック
中学校に浄水装置1号機を設置
以来、ハーティン省、ドンナイ省、クア
ンナム省で15号機まで設置
- 2014年 9月 ハティン省で学資支援を開始
- 2016年 4月 ベトナムで教育・スポーツ・人材育成交
流会を開催（ハノイ・ダナン）
- 2017年 9月 日越人材育成交流会（ハティン）
- 2018年 8月 ホイアン日本祭出展・日本文化紹介
クアンナム省教育交流イベント参加
- 2018年11月 アジア人材育成交流会（東京）開催
- 2019年 7月 日越人材育成交流会フォーラム（熊本）
- 2019年 7月 令和元年外務大臣表彰池田理事長受賞
- 2019年10月 バングラデシュ人材育成交流
- 2019年10月 カンボジア・モンゴル人材育成交流
- 2020年 9月 新型コロナ感染防止支援事業開始
- 2021年 1月 ベトナム第7次学資支援授与81名
- 2022年 3月 ウクライナ支援・避難民支援活動
- 2022年 5月 ベトナム第8次学資支援授与102名

Vietnam ベトナムでの支援活動

多様な支援を必要としているベトナム

ベトナムの農村地域では水道が普及しておらず、地下水や表流水を生活に利用しています。しかし、水質が悪いためそのままでは飲むことができません。

JIFAでは、子どもたちが安心して飲める水を提供してきました。



会員をはじめ、日本やベトナムの人々や企業の寄付を募り、おかげさまで2021年4月現在、15基を設置することが出来ました。累計約20,000名の生徒と先生方や診療所等の施設に安全な水を提供しています。

浄水装置は、浄化筒や浸透膜装置を通過させ、紫外線やオゾンで殺菌するしくみで、省予防衛生センターの分析によりベトナムの飲料水水質基準をクリアする浄化能力を確認したうえで、提供しています。設置後の維持管理については、合意文書に基づき、人民委員会、教育訓練局、村や学校が責任を持ち、地元の協力業者が定期的に検査やメンテナンスを行うため、子どもたちは安心して飲み続けられます

9号機 水質浄化性能(実測)

	飲料水基準	井戸原水	浄化水
濁度	2	29.5	0.2
鉄分(mg/L)	0.5	0.87	0.14
塩化物(mg/L)	250	3.1	0.2
大腸菌(数/100ml)	0	105	0

ハーティン省予防衛生センター水質分析結果

在日ベトナム若者支援

コロナ禍の影響で、仕事や住まいを失い、食にも事欠く在日ベトナム技能実習生、留学生や帰国困難者を受入れ、心の拠りとなっている大恩寺の「幸せの贈り物プロジェクト」を支援



大恩寺（本庄市）

アジア各国の子供たちへの支援



中国

中国寧夏回族自治区と山東省の辺境地域で約300人に教育支援を実施(2005～)



カンボジア



地雷によって足を失った方や小児麻痺（ポリオ）のため障がいをもった方たちが自立するための施設で交流・支援



モンゴル



JIFAからの寄付金のお礼にいただいた切り絵（脳卒中から回復した入居者の作品）
ウランバートルシングルマザー支援団体・介護施設との交流
介護技能を学ぶため来日が実現



ミャンマー



バングラデシュ

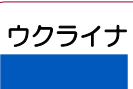
ミャンマー人道支援
ロヒンギャ(避難民)
を受入れているバ
ングラデシュ支援



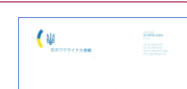
ネパール



2015ネパール地震 コメの救援
チュブルン村に風力発電支援



ウクライナ



ウクライナ支援募金 2022.3
ポーランドへ避難民支援募金



ベトナム



東ディエンビエン郡ハンリア村の少数民族の子供たちと交流・支援 (2015)



ベトナム大使館と共同でチャリティ事業
収益の半分は被害地域救済に、半分はJIFAに